

Press Release

平成27年7月10日

りつめいかん
立命館アジア太平洋大学
道の駅「みえ」
国土交通省佐伯河川国道事務所

記者発表資料

りつめいかん

立命館アジア太平洋大学と道の駅「みえ」の連携

みえまち

～道の駅を拠点とした三重町の新たな魅力の発掘・発信に向けて～

りつめいかん

大学と地域の交流・連携の一環として、立命館アジア太平洋大学と道の駅「みえ」及び佐伯河川国道事務所が連携企画型の実習を行うことになりました。この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、道の駅が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、大学と道の駅がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を実施するものです。（詳細は別途資料参照）

【実施内容】

○豊後大野市の道の駅「みえ」で8月に開催される『浴衣Day』の内容を、学生※が企画提案し、連携して実施します！

※参加状況によっては国際学生が実施。

◆実施スケジュール

- ・ 7月15日（水）午後 第1回 道の駅訪問実習
- ・ 8月 8日（土）第2回 道の駅訪問実習（前日準備）
- ・ 8月 9日（日）第2回 道の駅訪問実習（浴衣Day本番）

【問い合わせ先】

Shape your world りつめいかん



立命館アジア太平洋大学

Ritsumeikan
Asia Pacific University

大分県別府市十文字原1丁目1番 電話:0977-78-1114(広報)



道の駅「みえ」

大分県豊後大野市三重町宮野2791番地1 電話:0974-24-0010(代)

駅長 ごとう せつこ
後藤 節子



国土交通省 九州地方整備局 佐伯河川国道事務所

大分県佐伯市長島町4-14-14 電話:0972-22-1880(代)

技術副所長 たぐち けいじ 田口 敬二 ◎道路管理課長 うばやし やすひこ 鵜林 保彦

りつめいかん 立命館アジア太平洋大学と道の駅「みえ」との連携

りつめいかん
立命館アジア太平洋大学の学生と道の駅「みえ」が連携し、たくさんの方の地域の皆様とふれあい、活気あふれる『浴衣Day』を企画・提案、実施します！

道の駅「みえ」の利用者層やニーズ、豊後大野市の「歴史」「文化」「風土」を調査・把握して、地域の特色を生かした企画を提案。



道の駅「みえ」の恒例夏祭り行事『浴衣Day』にて企画の実施！

また、夜は学生が地元の民家にホームステイして交流を深めます。

【次年度以降の方向性について】

今年度は、試行的取り組みとして実施をするが、次年度以降、期間の長期化やインターンシップとしての具体的な取り組み課題を設定し、単位修得も視野に入れたプログラムとして取り組みの在り方を検討する。

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学は、100余年の伝統と歴史をもつ学校法人立命館が大分県と別府市さらに国内外の広範な人々の協力を得て、2000年4月に開学した日本初の本格的な国際大学です。

学生数は約6,000人で、世界中からの国際学生が全学生の約半数を占め、教員も約半数が外国籍という多文化・多言語のキャンパスで、グローバル人材の育成を目指しています。



道の駅「みえ」は大分市の南に位置しており、平成16年10月にオープンしました。

「大分の野菜畑」と呼ばれる豊後大野市の三重町にあって、緑豊かな大自然の中で育った野菜が自慢で、隣接する農園では、「イチゴのもぎとり」や「芋掘り」体験などができ、地元の方々と季節毎のお祭りやイベントで連携しており、地元の方々にとっても憩いの場となっています。平成24年9月、日本ジオパークに「おおいた豊後大野ジオパーク」として認定された、清流大野川と田園風景を見渡せる「江内戸の景」と呼ばれる絶景を望める高台にあり、来店された方々を癒します。

